

2018.11.21

報道関係各位

アストンマーティン・ジャパン

## アストンマーティン Vantage GTE が WEC 上海 6 時間レースで初優勝

- アストンマーティン Vantage GTE が WEC 第 5 戦の上海で初優勝を飾る
- マルコ・ソーレンセンとニッキー・ティーム組が 2017 年のメキシコ 6 時間レース以来の勝利
- GTE Am クラスでは、アストンマーティン・レーシングがポイント・リーダーに迫る



2018 年 11 月 18 日、上海:

FIA 世界耐久選手権(WEC)第 5 戦の上海 6 時間レースが開催され、アストンマーティン・レーシングの新型 Vantage GTE が初優勝を飾りました。波乱の展開となったこのレースで、デンマーク人ドライバーのニッキー・ティーム/マルコ・ソーレンセン組の 95 号車が、完璧な判断を下してこのレースを制しました。2016 年の FIA WEC GTE Pro クラスで総合優勝を果たしているこのコンビは、降り続く豪雨により 5 回もセーフティカーが導入され、2 回にわたって赤旗中断(合計 90 分間)されたこのレースで、巧みにレースをコントロールしてチームに勝利をもたらしました。

GTE Pro クラスに参戦したアストンマーティン・レーシングの 95 号車と 97 号車は、厳しいコンディションが続く中で 1-2 体制を築き、一時はマキシム・マルタン(ベルギー)/アレック



## ASTON MARTIN

ス・リン(英国)組の 97 号車がトップを走行する場面もありました。レース終了 1 時間前までは、1-2 フィニッシュによる完全優勝を収めるチャンスも残されていました。しかし、チームは、レース序盤の時点で、優勝の可能性を最大限に高めるため、この 2 台に異なる戦略を採用することを決定していました。この戦略に基づき、97 号車は、最終ステイントで 95 号車よりも早いタイミングで最後のウェット・タイヤに交換します。しかし、タイヤのグリップが低下したレース終盤に雨が強まった影響によりポジションを落とし、97 号車は最終的に 4 位でチェッカーを受けました。

レースが終盤に向かうにつれ、天候と視界が悪化してコンディションがますます不安定になる中、優勝の可能性は 95 号車に絞られることになります。チームは、レース中盤のステイントでいつもの通りのハードな走りでレースの主導権を握り、ソーレンセンにステアリングを引き継ぎます。ソーレンセンは、レース終了直前に導入されたセーフティカーによって、ライバルとのタイム差がほとんどなくなるという大きなプレッシャーを受けながらも、冷静な走りで歴史的勝利を収めました。

「本当に長く、そして非常に難しいコンディションのレースでした。」と、ソーレンセンはレース後にコメントしています。「ニューマシンで最初の勝利を挙げることができて、最高に嬉しいです。まるで総合優勝をかけて戦っているかのように、全力で走りました！チームがハードワークを続けてくれたおかげです。“スーパーシーズン”序盤は苦しい展開でしたが、2018 年最後のレースを勝利で締めくくることができて、素晴らしい気分です。来年開催される次戦のセブリングまでに、マシンをさらに熟成することに集中します。」

チームは、次のように語っています。「新型 Vantage GTE の投入が大きなターニング・ポイントになりました。チーム一丸となってハードワークを続け、ついに表彰台の頂点に立つことができて感無量です。チーム全員の努力が報われました。今日の勝利は、もっとも戦闘力のあるマシンで走り、戦略が見事に的中し、すべてのスタッフが完璧に仕事をやってのけた結果です。アストンマーティン・ファミリーの一員になれたことはもちろんですが、Vantage GTE の最初の勝利に貢献することができて、大変誇らしく思っています。大混乱となったレースでしたが、完璧な結果で終わることができました！」

今回の優勝は、通称“DaneTrain”(デンマーク号)と呼ばれる 95 号車にとって、2017 年のメキシコ以来の勝利となりました。偶然にも、Vantage GTE の一世代前のモデル、V8



## ASTON MARTIN

Vantage GTE も、2012 年に同じサーキットで初優勝を遂げています。アストンマーティン・レーシングは、中国のレースでは常に好成績を収めており、GTE Pro クラスまたは GTE Am クラスのどちらかで優勝または 2 位でフィニッシュを果たしています。

アストンマーティン・レーシングのマネージング・ディレクターを務めるジョン・ガウは、次のように述べています。「アストンマーティンの新型 Vantage GTE で初優勝することができて、最高の気分です。ポルシェは、新しい GTE マシンで勝利するまでに 15 戦を要しましたが、私たちはわずか 4 回レースに参戦した後にそれを成し遂げることができました！今日は、おそらく WEC 史上もっとも複雑なレースだったと言えるでしょう。また、ルマン 24 時間レースを除けば、GTE Pro クラスにとって、もっとも競争の激しいレースでもありました。このクラスには、今回初めて 11 台のマシンが参戦していたからです。さらに、私たちのマシンが今日履いていたタイヤは、直接のライバルが履いていたタイヤとまったく同じミシュラン・タイヤだと知って、喜びが倍増しました。つまり、今日のレースでは、私たちのマシンが一番速かったということです。スタッフ全員で喜びを分かち合っていますが、大健闘した 97 号車は少し残念な結果となりました。私たちは優勝を目指していましたので、参戦した 2 台のマシンに、レースを通してまったく同じ戦略を採用することは当初から考えていませんでした。95 号車には最善策の次に考えられる戦略を採用しましたが、結果的にその戦略が功を奏したことになります。97 号車は、レース最後のフル・スティントを摩耗したウェット・タイヤで走行する必要がありました。」

GTE Am クラスでは、ディフェンディング・チャンピオンのポール・ダラ・ラナ(カナダ)/ペドロ・ラミー(ポルトガル)/マティアス・ラウダ(オーストリア)組のアストンマーティン V8 Vantage (98号車)が予選でポールポジションを獲得し、決勝レースでは5位でフィニッシュしました。その結果、GTE Am クラスのチーム・ランキングでは、かつてのポイント・リーダーにペナルティが科されたこともあり、アストンマーティン・レーシングが 2 位に浮上しています。ランキング・トップとのポイント差は、(優勝ポイントよりも少ない)20 ポイントとなっています。

第 6 戦のセブリング 1000 マイル・レースは、2019 年 3 月 15 日(日)に米国フロリダ州のセブリング・インターナショナル・レースウェイで開催されます。

###



## ASTON MARTIN

本リリースの英語版はウェブサイト(<https://media.astonmartin.com/aston-martin-vantage-gte-delivers-maiden-win-in-china/>)からご覧いただけます。

関連画像は[こちら](#)よりダウンロードください。

Aston Martin に関する詳しい情報は、ウェブサイト([www.astonmartin.com](http://www.astonmartin.com) または [www.astonmartin.com/media](http://www.astonmartin.com/media)) から入手可能です。

Aston Martin Japan に関する情報は <https://global.astonmartin.com/ja/> をご覧ください。

ブランド・コミュニケーションチームの [Twitter](#) も開設されています。

アストンマーティン・ソーシャルメディア・チャンネルは、以下のリンクからアクセスできます。

- [Facebook](#)
- [Twitter](#)
- [Instagram](#)
- [Google+](#)
- [Pinterest](#)
- [YouTube](#)
- [LinkedIn](#)
- [Vine](#)

### メディア問い合わせ先:

コスモ・コミュニケーションズ  
アストンマーティン PR チーム  
今野 博文

Tel: 03-6434-5839

M: 090-6180-0281

[hirofumi\\_konno@my-z.co.jp](mailto:hirofumi_konno@my-z.co.jp)